



「いのちの授業」～市民科授業地区公開講座～

校長 吉川 信次

市民科授業地区公開講座では、多くの保護者の方々に来ていただきありがとうございました。講演会「いのちの授業」にも200名近い方々に参加していただき大変有意義な時間となりました。講師の高宮有介先生（昭和大学医学部客員教授）は緩和ケアの医師でがん患者さんの心と身体の痛みを和らげる仕事をしている方です。講演会では余命わずかのがん患者さんとの会話、患者さんが遺した文章や詩、実際の映像などを解説しながら紹介するという内容でした。聴いていた参観者の中には、涙を流される方が多くいらっしゃり、今まで自分が経験してきたことと照らし合わせながら命について深く考える貴重な機会となりました。

「生きる意味」

普通の生活をしていて死ぬならそれでも結構だ。
大事なのは、今、何ができるかということではないか。
今やりたいこと、なんだろう。俺が今できるもの。癌と闘いつつ、明日を信じて勉強すること。俺にとって満足いく生活だった、と言えるようになること。一日一日を精一杯生きるという生き方に巡り合えたこと。

私が特に印象に残ったのが、高校3年生で脳の悪性腫瘍になった西田英史さんの日記です。生きる意味を見出しながら、勉強を続け一日一日を精一杯生きようとしたことが伝わってきました。しかし、結局は病状が悪化し大学受験はできなかったそうですが、生きることの意味を考えることのできる日記でした。

今回は保護者向けの講演会だけでなく4年生にも「いのちの授業」をお願いしました。発達段階を考えると少し難しい内容ではありましたが、子どもたちなりに様々な事例に向き合い、命について考えることができました。高宮先生は多くの小中学生、高校生、大学生に「いのちの授業」を行っています。授業を通して三つのことを伝えたいと話されています。一つは、死を通して、いま生きていることに感謝し、今日を生き切ること。二つ目に、自分が生まれてきた意味や役割を考えてみること。三つ目に、自分の夢を描き、はじめの一步を歩みだすことです。今回の講演会や授業を通して「生きていることに感謝する」「意味や役割を考える」ということはできたかもしれませんが、「一步を歩みだすこと」はなかなかできないことかもしれません。しかし、考えたこと、学んだ（初めて知った）ことを実際の生活の場で生かしていく、行動にうつしていくことはとても重要なことです。市民科学習のねらいも実はそこにあります。教材を活用しながら道徳的な価値について考え、実践につながるスキルトレーニングを行い、日常実践を行った後に自分自身の行動を振り返るというステップを踏んでいます。今回の「いのちの授業」を通して私自身も「自分の夢を描き、はじめの一步を歩みだす」ことに挑戦していきたいと思えます。

【2月17日（土）市民科一貫プラン発表】

4年生は社会科と関連させた伝統工芸について発表します。5・6年生は「理想とする社会」について児童が考えた8つのテーマ（貧困、文化、町づくり・安心安全、命、福祉、教育・スポーツ、自然、自由・平等・公平・公正）を基に取り組んだ実践報告会を行います。次年度の探究学習発表会につながる内容となります。土曜授業公開日となっておりますので是非お越しください。

*土曜校授業公開日ですので写真や動画の撮影はできませんので、ご了承ください。

「いのちの授業」

4年松組 森本 睦美

4年生は、市民科で「命の大切さ」について考えました。命とは何かをイメージマップに書き込んだり、自分の生きる意味は何かを考えたりしながら、今の自分の生き方について見つめ直す授業を行いました。1月20日（土）には、昭和大学医学部客員教授の、高宮有介先生のご講演を聞きました。障害をもって生まれた女性が、自分のやりたいことを見つけて明るく元気に成長していく話や、突然重い病気にかかった男の子が、最期の日まで受験勉強や普段の生活に精一杯取り組んだ話などを聞きました。4年生として10歳の心で、一生懸命「命」について考えることができました。

<児童の感想>

授業を聞きながら、もしあと少しで死んでしまうと言われたらどうするかを考えました。これからは、お世話になったたくさんの人に感謝を伝えていきたいし、行きたい！やりたい！と思ったことを積極的にやってみたいと思います。

私が急に死んでしまったら、いろいろなことを後悔するかもしれません。でもたくさんのいい思い出があります。なるべく後悔しないように、思い出を大切にしようと思いました。もっと一日一日を大切にしようと思います。

僕は、今回のお話を聞いて、自分の今の生活が当たり前ではないこと、僕よりもっと生きることを頑張っている人がいることを知りました。命はお金より大切だということも理解しました。そして、時間を大切にしていきたいと思いました。

私は、人の死をまだ知りません。どれだけ悲しいのか、どのくらい寂しいのかまだ知りません。でも、だれでも悲しさや寂しさは感じると思います。先生のメッセージや亡くなっていった人のメッセージに感動しました。

僕は、命の授業を聞いてすごく感動しました。がんになってしまった人の勇気や頑張る気持ちが、本当にすごいな、と思いました。今の自分と照らし合わせてみたら本当に涙がでてきました。自分のことも考えられてよかったです。

自分が生きる意味は、死ぬまで楽しいことをするため、たくさん幸せになるためなんだと思いました。そして、僕を愛してくれている人がいると思うので、限りある命を大切に生きたいと思いました。

僕は、お話を聞きながら、「七五三」に連れて行ってくれたひいおじいちゃんにもう一回会いたいな、一緒に暮らしたいな、と思いました。おじいちゃんとおばあちゃんにもあと10回も会えないかもしれないから、次会うときに「ありがとう」と伝えたいです。

人生にいつ終わりが来るか分かっていたら、一日一日を大切に生きると思います。でも、いつ死ぬか分からないし、明日が来ると思っていたら、亡くなってしまうこともあるかもしれません。なので、毎日を大切に生きたいと思いました。

生活科「おもちゃ作り交流」

2年竹組 難波 淑子

1月17日と19日に、1年生とおもちゃ作り交流を行いました。

2年生は2学期から、この交流に向けて準備を進めてきました。まず、生活科の学習でおもちゃの見本を作りました。国語では、おもちゃ作りの説明書を、タブレット端末のロイロノートで書きながら計画を立てました。交流する時間内でおもちゃが完成して遊べるようにするには、どこまで用意しておくといいかを考えて、準備をすることができました。

おもちゃ作り交流の当日、「どうしよう、どきどきしてきた」「うまく教えられかな」と心配顔の2年生でしたが、交流が始まると、1年生が作りやすいように手を添えてあげたり、分かりやすく丁寧に説明をしたりする様子が見られ、お兄さんやお姉さんになったなと感じました。

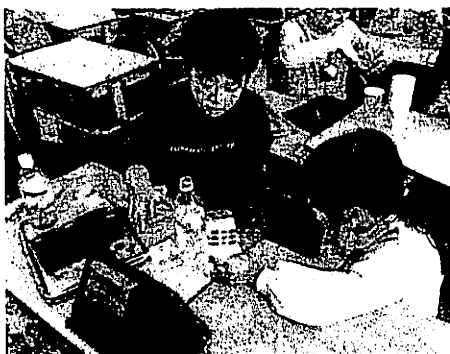
完成したおもちゃで遊んだ後、「楽しかった！ありがとう」と嬉しそうに帰っていく1年生の姿に、達成感を味わうことのできる取組になりました。



おもちゃができたよ！（松組）



すてきな上級生だね！（月組）



タブレット端末の説明書を見て！（竹組）



楽しかったよ！（梅組）



年間重点生活目標「大ーABCを身に付けよう」
 今月の生活目標
 生活のめあて 静かに歩きましょう
 保健のめあて うがい・手洗いをしましょう
 給食のめあて 食事のマナーを考えて食べましょう



2月の行事予定

今月の
避難訓練は
予告なしで
行います。

日付	曜	主な行事	日付	曜	主な行事
1	木		16	金	児童集会 クラブ(最終)
2	金	委員会⑩ CAP(3年)	17	土	土曜授業(2・3校時授業参観) 児童生徒会役員懇談会 PTAイベント(14:00~)
3	土		18	日	
4	月		19	月	定期考査(6年)
5	月	安全指導 CAP(3年)	20	火	放送朝会
6	火	放送朝会 入学説明会(14:00~) 赤ちゃん交流(2年)	21	水	
7	水	午前授業	22	木	音楽朝会
8	木	笑顔と学びの体験活動 3・4校時(1・2・3年)5・6校時(4・5・6年)	23	金	天皇誕生日
9	金	保健集会	24	土	
10	土		25	日	
11	月	建国記念の日	26	月	
12	月	振替休日	27	火	放送朝会 6年生を送る会 フレンドタイム
13	火	放送朝会 計測(6年) そろばん教室(3年)	28	水	
14	水	品川教育の日 そろばん教室(3年)	29	木	
15	木	セーフティ教室(6年)			

生活指導部より

生活指導部：片岡 今日子

2月の生活目標は「ろう下を静かに歩こう」です。最近、廊下や階段で危ないな！と思う行動が目立っています。廊下や階段は右側を歩くのが学校のルールですが、走って移動する人、階段を駆け降りる人も見られます。走ったまま誰かにぶつくと、自分だけでなく相手にけがを負わせてしまうこともあり大変危険です。また、話しながら広がって歩いたり、廊下で遊んだりするのも他の人の迷惑になってしまいます。休み時間、早く遊びたかったり予定があったりと急ぎたくなる気持ちはわかりますが、自分やみんなの安全のためにルールを守って過ごすようにしましょう。

この冬は暖冬といわれていますが、年明けから寒さが厳しくなっています。空気が乾燥し気温が低くなると感染症の患者も増えていますので「うがい・手洗い」をこまめに行い、予防に努めていきましょう。二月も「安全」で「落ち着いた」学校生活を元気に送っていきたいと思います。ご家庭でもご協力をお願いいたします。

リレーコラム「かかわる、創る」

6年梅組：小林 雄大

6年生は、残り約2ヶ月の小学校生活となりました。残された日数の中で、学習のまとめ、クラブや委員会、フレンドタイムの引き継ぎ、お世話になった方への感謝を伝える取り組み、卒業式の練習等ありますが、一つ一つ想いを込めて取り組んでいきたいと思ひます。

その中の一つに、校旗の引き継ぎがあります。昨年度の6年生よりバトンを受け継ぎ、1年間、校旗の掲揚、降納を続けてきました。朝、職員室に校旗を取りに来る6年生が、「失礼します。6年〇組 〇〇です。校旗を取りに来ました。」とさわやかに挨拶し、誇りをもって活動する姿に、すがすがしさを覚えます。昨年度引き継いだ、本校の素晴らしい伝統が今後も続いていくよう、次の6年生へ「つないで」いきます。

大ープログラム 福祉グループ 募金活動のお礼と報告 福祉グループ担当：6年梅組 小林雄大

このたびは、児童の教育活動の一環として行った、身体に障がいのある方が生活している施設への募金活動へのあたたかなご理解とご協力をいただき、ありがとうございました。厚く御礼申し上げます。

皆様からご寄付いただきました金額は合計で **50,805 円** となりました。事前にお伝えしていたように、「品川区立心身障害者福祉会館」にお渡しいたします。ご寄付いただいた方々に心から感謝申し上げます。